

【南部インド：スタートアップと都市成長】

南部の都市ベンガルールでは、スタートアップエコシステムの発展が非常に印象的でした。大学発の支援機関を中心に多くのスタートアップが創出されており、特に IT や環境分野での成長が期待されています。一方で、日本からの関与はまだ限定的であり、今後の連携余地が大きい分野であると感じました。

また、ベンガルールの都市化の進展に伴い、電力インフラや生活関連サービスなどの需要も拡大しており、製造業にとどまらないビジネス機会の広がりを実感しました。

【南インド工業団地とグローバル展開】

チェンナイ近郊の工業団地である Sri City では、港湾や高速道路といったインフラを背景に、多国籍企業が集積する様子を確認しました。日本企業の進出も進んでおり、今後は製造業に加え、現地で働く方々向けのサービス分野への広がりも期待されています。

また、現地製造拠点を活用し、中東など海外市場への輸出を行う事例も見られ、インドがグローバルサプライチェーンの一角として機能している現状も確認できました。



【視察を通じた示唆】

今回の視察を通じて、インドは高い成長ポテンシャルを有する一方で、制度面やインフラ面においてなお課題が残る市場であると認識しました。そのため、日系企業が進出して成功するためには、長期的な視点と現地への適応力が不可欠であり、現地パートナーや各種ネットワークの活用も重要であると考えます。

また、日系企業が関与すべき分野は製造業にとどまらず、スタートアップやサービス領域を含めた多面的なアプローチが求められる段階に来ていると感じました。

【おわりに】

今回の視察は、インド市場の実態を肌で感じ、多くの示唆を得る大変有意義な機会となりました。今後もよりいっそう、駐在員だからこそ得られる情報や知見、ネットワークを活用して、インド・東南アジアと福岡・九州の関係深化に貢献してまいります。弊行の海外駐在員事務所を、海外展開のご支援やビジネスマッチング等にぜひご活用いただければ幸いです。

最後に、本視察の実施にあたりご協力いただいた関係者の皆さまに、心より御礼申し上げます。



株式会社福岡銀行
島田 貴弘 氏



福岡銀行

<https://www.fukuokabank.co.jp/>